

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	山口市家庭教育支援チーム (呼称: つくし)
②活動拠点	大内地区 大殿地区 宮野地区 仁保地区
③活動範囲	山口市内
④組織体制	_____ 5 _____ 人 元教員 1 名 民生委員 1 名 地域学校協働推進員 1 名 学童保育支援員 2 名
⑤活動開始年度	_____ 2018 _____ 年度
⑥問合せ先	(担当者氏名・所属) 原岡 一樹・山口市教育委員会社会教育課 (住所)〒 753-0074 山口市中央 5 丁目 14-22 (TEL)083-934-2865 (E-mail) s-kyoiku@city.yamaguchi.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>2018 年度から家庭教育アドバイザーとして山口市内の北東部地区にて活動を開始。最初の取組として、各小学校・中学校へパンフレットを持参し、校長を訪問。認知してもらう事から始める。その中で少しずつ活動の幅を広げていき、参観日・懇談会・就学時健診・仮入学等での保護者向けの「保護者カフェ」を実施し、保護者同士の交流や個別相談を行う。コロナ禍以前には、仮入学の際、教育講座の中で担当課と共に保護者向けに「家庭教育とは」をテーマに話す機会もあった。2022 年度は、上記の活動以外にも地域の行事でパンフレットを配布したり、誰でも立ち寄りやすいカフェを地域のイベントで実施し、学校内だけでなく地域の中へ活動が広がる。</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>活動当初は、周囲の認知度が低く、アドバイザーの存在を知ってもらうことから始め、地域や学校にも少しずつ認知されるようになって、学校内での「保護者カフェ」を実施。その際、保護者の方がカフェに入りやすいように、ハンドマッサージを行なって下さる方に来ていただき、体験してもらったり、花生けの行事と同時開催したり工夫を凝らす。また、保護者のみならず教職員や隣接学校の PTA の方等にも見てもらうことで徐々にカフェを行なう学校が増えていく。学校だけでなく、地域の方とも連携することにより活動の幅も広がり始めた。</p> <p>カフェの実施、アンケート等で、今まで埋もれていた悩みを抱える保護者を見つけ個別相談へと繋げることができた。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>